

ANDERSEN
Institute of Bread & Life

報道関係者 各位

2020年11月5日
株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所

「アンデルセンのメルヘン大賞」
メセナアワード 2020 優秀賞受賞

株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所(本社:広島市中区、代表取締役社長:沼田二郎)が主催しますアンデルセングループの文化活動「アンデルセンのメルヘン大賞」が、『メセナアワード 2020』において優秀賞を受賞しました。

『メセナアワード』は、公益社団法人企業メセナ協議会によって、企業によるメセナの充実と社会からの関心を高めることを目的に 1991 年創設されたアワードで、前年度に実施されたメセナ活動を自薦・他薦で公募し、有識者による選考の上、7 件(大賞 1 件、優秀賞 5 件、特別賞 1 件)の活動を表彰します。

なお、贈呈式は 2020 年 11 月 20 日浜松町コンベンションホール(東京)で開催されます。



MEGENAT
AWARDS
2020

■企業メセナ協議会 発表内容

受賞名 : 優秀賞 パンと絵本でメルヘン賞

受賞者 : 株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所

活動名 : アンデルセンのメルヘン大賞

評価ポイント:

- 本業のパンづくりからくる思いを絵本に込め、長年にわたり童話創作の機会を提供している。
- 受賞者と選考委員の共同作業という独自の形式で、童話を愛する人々の心をつなげている。

※別途、公益社団法人企業メセナ協議会様からリリースが発信されています。

本リリースに対するお問い合わせは、株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所 広報室まで
Tel:082-240-9409 Fax:082-240-9072 <https://www.andersen-group.jp/>
〒730-0045 広島市中区鶴見町 2-19 ルーテル平和大通りビル

補足資料

■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、助成、交流、発信等の事業を行う。

設立:1990年2月14日

会長:高嶋達佳(㈱電通 相談役) 副会長:渡辺雅隆(㈱朝日新聞社 代表取締役社長)

理事長:尾崎元規(花王㈱ 前取締役会長)

■「メセナアワード」とは

企業によるメセナの充実と社会からの関心を高めることを目的に、公益社団法人企業メセナ協議会が1991年に創設した賞。以来、前年度に実施されたメセナ(芸術・文化振興による豊かな社会創造)活動を対象に選考を行い、2019年までに221件を表彰しています。

■「メセナアワード2020」概要

〈選考対象活動〉

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が2019年4月1日から2020年3月31日に実施したメセナ活動で「This is MECENAT 2019」に認定された活動165件を対象に選考しました。

〈2020年度審査委員〉

萩原なつ子(立教大学・教授、(認特)日本NPOセンター代表理事)※審査委員長

佐倉 統 (東京大学大学院情報学環教授、
理化学研究所革新知能統合研究センターチームリーダー)

中島信也 (東北新社取締役副社長、CMディレクター)

仲町啓子 (実践女子大学教授、秋田県立近代美術館長)

山口 周 (独立研究者、作家、パブリックスピーカー)以上、敬称略・五十音順

尾崎元規 (企業メセナ協議会理事長)

メセナアワード 2020 優秀賞受賞

■アンデルセンのメルヘン大賞について

「アンデルセンのメルヘン大賞」は、アンデルセングループ創業 35 周年の記念事業として 1983 年に創設した公募の童話大賞です。デンマークを代表する童話作家であり、社名の由来にもなっているハンス・クリスチャン・アンデルセンのように、お客様と童話を通じて夢や感動を分かち合いたいという願いから始まり、今回 38 回を迎えました。



アンデルセンのメルヘン大賞 創設までのあゆみ

1948 年 創業

戦後間もない 1948 年 8 月 1 日、広島比治山のたもとで、アンデルセングループ(当時 タカキのパン)は創業しました。食べる物が十分でない時代でも、“消費者が求めているのは本当においしいもの”との信念を持ち、量よりも質を追求することを大切にしました。



1959 年 デニッシュペストリーとの出会い

創業者 高木俊介が初の欧米視察で訪れたデンマーク。そこで食べたデニッシュペストリーのおいしさに感動し、日本のお客様にも味わっていただきたいとの一心で開発に力を注ぐ中、デンマークとの交流は深まってきました。そして、暮らしを心から楽しむデンマークの人々の姿に心から感銘を受け、以来、デンマークの国の在り方、人々の生き方を企業活動のお手本にしています。



1967 年 「アンデルセン」誕生

パンを通じて「食卓に幸せを運ぶ」。この思いを具現化したお店として、広島の本通に「アンデルセン」をオープンしました。その店名には、デンマークの童話作家 H. C. アンデルセンが物語を通じて人々に夢や希望を与えたように、パンを通じて幸せを届けたいという思いが込められています。



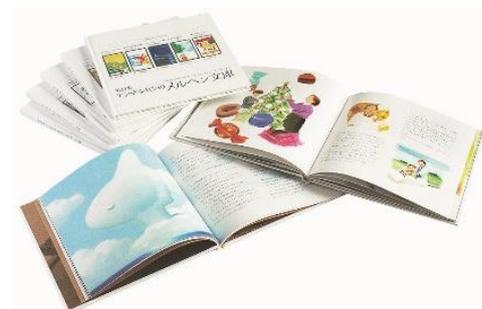
1983 年 アンデルセンのメルヘン大賞 創設

創業 35 周年を迎えた当時、物は充足してきた一方で、心のゆとりがない時代において、どんなことがお客様の暮らしを豊かにすることにつながるか、を考えました。そうして、童話作家 H. C. アンデルセンが世界の人々に心の灯を与えたように、私たちが人々の生活に、夢と希望をパンのように膨らますことができないかと思い、童話賞の創設に至りました。



アンデルセンのメルヘン大賞の特色

アンデルセンのメルヘン大賞は、誰もが自由に参加できる童話創作の「場」と、そこから生まれた作品を通じて誰もが童話を味わい(読む)楽しむ「機会」の提供を通じ、お客様の日々の暮らしに潤いをもたらしたいと願い、企画された童話賞です。立原えりか先生のほか、プロの画家・イラストレーターが選考に携わり、自ら選んだ作品に挿絵をつけて、「アンデルセンのメルヘン文庫」という1冊の絵本を刊行するという、独自のスタイルでメルヘンの輪を広げています。



1) 豊かな空想の時間の提供

アンデルセンのメルヘン大賞は、童話作家の登竜門・育成を第一義としたものではなく、広く一般の方を対象としています。

募集要項の作品テーマ覧には、「身近な暮らしの中で感動したこと、想像したことなどを自由に綴ってください」とのみ書かれています。時に、応募者の方から、「具体的なテーマはないのですか?」「どの年代を対象にした童話を書いたらいいですか?」と質問が届くこともありますが、日々のささやかな感動や思いを大切に膨らませ、自由に言葉に紡いでいく、その豊かな空想の時間こそが日々の暮らしに潤いをもたらすと考え、自由なテーマでの募集を続けています。

2) 選考委員長 立原えりか先生による一貫した選考

第1回よりアンデルセンのメルヘン大賞の選考委員長を務めるのは童話作家の立原えりか先生。毎年応募作品全てに目を通し、アンデルセンのメルヘン大賞にふさわしい作品を一貫した基準で選んでくださっています。

立原 えりか(たちばら えりか)

日本女流メルヘン作家の中で、三指に数えられる童話作家であり詩人。第1回より「アンデルセンのメルヘン大賞」の選考委員長を務める。『人魚のくつ』で、1959年児童文学者協会新人賞受賞。1961年『かでか人とちびちび人』で、講談社児童文学新人賞受賞。

ふくよかな香気をたたえた名作を数多く著作。

『立原えりか作品集』(全7巻)思潮社。『立原えりか童話集』(全5巻)角川文庫。『立原えりかファンタジーランド』(全16巻)青土社、その他。

3) 毎年異なる選考委員による選考と作画

選考委員を務めてくださる画家・イラストレーターの先生方は、立原えりか先生による予備選考を経た作品の中から「自分がこの童話の挿絵を描きたい」と思うものを受賞作品として選びます。そして童話から想像を膨らませ、実際にその作品のための挿絵を描き、受賞者と共作という形で創作童話の世界を豊かに広げていきます。

選考委員は一人として同じ方をお願いすることはなく、第一線で活躍中の画風の異なる画家・イラストレーター5名の方に毎回参画いただいています。

4) 共作により誕生する、「アンデルセンのメルヘン文庫」

応募者の方が空想を重ねた作品に、選考委員の先生方の想像により描かれた挿絵が加わり、「アンデルセンのメルヘン文庫」という1冊の絵本が誕生します。

アンデルセンのメルヘン大賞 これまでのあゆみ

第 37 回までの応募総数 **68,433** 作品

これまでに参画して下さった選考委員の先生方

185 名



第 1 回 永田 萌先生



第 4 回 やなせたかし先生



第 15 回 長 新太先生

これまでに刊行した「アンデルセンのメルヘン文庫」 **37** 巻

(2020 年 10 月 1 日に第 37 集を刊行)



1983 年 アンデルセンのメルヘン大賞 創設

1987 年 累計応募数 1 万作品に達する(第 5 回 募集終了時)

1997 年 累計応募数 3 万作品に達する(第 15 回 募集終了時)

1998 年 青山こどもの城で原画・絵はがき展開催

2008 年 創設から四半世紀を経たことを記念し、第 26 回より【こども部門】を新設

2011 年 東日本大震災を受け、第 28 回授賞式の開催を自粛

2013 年 第 30 回を記念して、「アンデルセンのメルヘン大賞絵本画家・イラストレーター 100 人の原画展」をひろしま美術館で開催

累計応募数 6 万作品に達する(第 31 回 募集終了時)

2017 年 日本・デンマーク国交樹立 150 周年記念「アンデルセン展」の関連展示として、川崎市市民ミュージアムで第 34 回アンデルセンのメルヘン大賞 原画展を開催

2018 年 アンデルセングループ創業 70 周年記念事業として

第 35 回アンデルセンのメルヘン大賞 原画展をひろしま美術館で開催

■これまで参画いただいた選考委員【敬称略・50音順】

- 第1回 新井苑子／梶山俊夫／永田 萌／古川タク／水田秀穂
第2回 味戸ケイコ／いもとようこ／江口まひろ／つぼのひでお／灘本唯人
第3回 北島新平／久里洋二／こうのこのみ／杉田 豊／高見八重子
第4回 おおば比呂司／牧野鈴子／村上 豊／本くに子／やなせたかし
第5回 アリマジユンコ／太田大八／杉浦範茂／たかしたかこ／林 静一
第6回 石田 隆／落合稜子／川村みづえ／黒井 健／若菜 珪
第7回 大橋 正／かすや昌宏／佐々木恵未／田島征三／野沢まりこ
第8回 江口あさ子／岸田耕造／田中恵美／箕田源二郎／葉 祥明
第9回 石倉欣二／小淵もも／司 修／丸山明子／吉田迪彦
第10回 朝倉 撰／東 逸子／篠崎三朗／早川良雄／蓬田やすひろ
第11回 秋里信子／宇野亜喜良／大橋 歩／原田維夫／松永禎郎
第12回 おぼまこと／小泉英里砂／松井しのぶ／松本修一／山城隆一
第13回 井上洋介／今成敏夫／新野めぐみ／福山小夜／矢吹申彦
第14回 飯野和好／奥田みき／儀間比呂志／タケカワコウ／山口はるみ
第15回 景山ひとみ／岸並千珠子／駒田寿郎／田木宗太／長 新太
第16回 岡村好文／佐々木悟郎／清水耕蔵／田中恒子／メグ・ホソキ
第17回 小川ひさこ／小島 直／小松 修／鈴木由美／横山 明
第18回 金森一意／北見 隆／木村桂子／栗原 徹／永田智子
第19回 井筒啓之／佐藤直行／たかすかずみ／長谷川京平／百田まどか
第20回 伊藤正道／手島加江／仁科幸子／吉田カツ／吉本 宗
第21回 板垣しゅん／上田みゆき／江原利子／スズキコージ／武富まさえ
第22回 加藤英夫／タケイエミコ／辻 和子／藤川秀之／村井和章
第23回 朝倉めぐみ／木内達朗／白浜美千代／渡辺 宏／和田忠士
第24回 浅野隆広／尾崎眞吾／金子 恵／倉石琢也／中野和美
第25回 小倉正巳／小泉るみ子／赤 勘兵衛／西のぼる／長谷川和子
第26回 高橋キンタロー／田崎トシ子／つがおか一孝／中村景児／日置由美子
第27回 網中いづる／塩田守男／畑 典子／星野哲朗／渡辺あきお
第28回 いがわひろこ／川上和生／管野研一／ふるただお／八木美穂
第29回 奥田みえこ／坂本富志雄／中山尚子／夏目尚吾／松本孝志
第30回 とどろきちづこ／中島美弥／山岡勝司／山本重也／渡辺有一
第31回 杉浦コウメイ／田頭よしたか／ふりやかよこ／山内三貴子／渡邊伸綱
第32回 かみやしん／日端奈奈子／松原健治／水戸岡鋭治／よしざわけい
第33回 植田 真／鈴木びんこ／中沢正人／羽山 恵／松本圭以子
第34回 大の武男／坂本明美／庄司三智子／村田 收／吉田尚令
第35回 音部訓子／ゴトウヒロシ／近藤美和／福原ゆきお／渡辺浮美生
第36回 柿田ゆかり／橘田幸雄／佐藤昌美／ふじしま青年／吉實 恵
第37回 河田久雄／浜野史子／藤本 将／水野ぶりん／最上さちこ